図書館 NEWS　12 月号

開館スケジュール
月～金　8：30～17：30
土　　8：30～14：30
日・祝日　休館
※12 月 27 日～1 月 6 日まで冬休み休館

早稲田大阪学園
図書館発行　No.123
2025.12.3

INFORMATION

冬休み前　長期貸出スタート！

12/1（月）～ 1/24（土）

図書：10 冊　雑誌 5 冊
英語多読：5 冊

早稲田文学コーナー更新しました！

重松清：
早稲田大学教育学部卒業。
２０１６年から１０年早稲田大学で教員を務めています。

CHECK「新書ノススメ」更新しました！

『怪談』で有名な小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）を知ってますか？
正直、「怪談」しか知りませんでした…。彼の本当の魅力、実力はこんなもんじゃなかった！

今月の特集
「世界が尊敬する日本の小説」
翻訳の力によって世界的な支持を得た日本文学は、21 世紀の文学界でどのような新たな動きを生み出したのか。

海外で候補・受賞の小説

●日本ＳＦの新たな可能性を見出した傑作
『定本荒巻義雄メタ SF 第 1 巻(柔らかい時計)』
荒巻義雄 著、巽孝之・三浦祐嗣 編集委員/彩流社

●特別な力を持つ羊を探す旅に巻き込まれる
『羊をめぐる冒険』 村上春樹/講談社

2004 年エドガー賞候補
●深夜の弁当工場で働く主婦 4 人が、夫殺しをきっかけに凶悪犯罪に巻き込まれていくサスペンス
『OUT』桐野夏生/講談社文庫

2012 年エドガー賞候補
●天才数学者が想い人を守るため犯行を隠す
『容疑者 X の献身』東野圭吾/文春文庫

2020 年国際ブッカー賞候補
●記憶が少しずつ消えていく不思議な島が舞台
『密やかな結晶』小川洋子/講談社文庫

2024 年ダガー賞候補
●主人公の「兜」は表の顔は文房具メーカー勤務の正社員で、裏の顔は超一流の殺し屋
『AX(アックス)』伊坂幸太郎 / KADOKAWA

2025 年国際ブッカー賞候補
●巨大な鳥に狙われる少女たちの不安と成長を描く
『大きな鳥にさらわれないよう』
川上弘美/講談社文庫

2025 年ダガー賞翻訳部門受賞
●ババヤガは暴力を唯一の趣味とする女性、新道依子が主人公のシスターハードボイルド小説
『ババヤガの夜』王谷晶/河出文庫

2025 年ブリティッシュ・ブック・アワーのデビュー・フィクション部門者受賞
●女性記者が天才料理家の殺人容疑者を追う中で、 食と欲望、名声の裏側が浮かび上がっていく物語
『BUTTER』柚木麻子/新潮文庫

世界で大人気の村上春樹

●主人公が自ら作りだした壁のある世界と、福島の田舎街が舞台
『街とその不確かな壁』村上春樹/新潮文庫

●ある朝、主人公は新聞で、町にある象舎から象とその飼育係の男が突如姿を消したことを知る
『象の消滅』村上春樹/新潮社

●2011 年の東日本大震災を背景に
『めくらやなぎと眠る女』村上春樹/新潮社

●愛をテーマに青春の喪失と再生を描く話
『ノルウェイの森』村上春樹/講談社文庫

●二つの異なる物語が交互に描かれる長編小説
『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』村上春樹/新潮文庫

●主人公が現実と幻想が絡み合う異次元の世界迷い込んでいく
『ねじまき鳥クロニクル』村上春樹/新潮文庫

映画化・ドラマ化された小説

●殺し屋らが乗り合わせた列車で交錯する攻防劇譚
映画のタイトル：Bullet Train（2022 年）
『マリアビートル』伊坂幸太郎/角川文庫

●戦場で死と再生を繰返す兵士の運命戦を描く
映画のタイトル：ALL YOU NEED IS KILL（2014 年）
『All you need is kill』桜坂洋/集英社スーパーダッシュ文庫

●亡き両親と再会した男が愛と別れを見つめ直す
映画のタイトル： 異人たち All of Us Strangers（2024 年）
『異人たちとの夏』山田太一/新潮社

●主婦が不倫と横領で転落していく
ドラマのタイトル：종이달チョギダル（2023 年）
『紙の月』角田光代/ハルキ文庫

●原因不明の死を追うルポライターがたどりついたのは呪詛にまみれた一本のビデオテープ
映画のタイトル：ザ・リング（2022 年）
『リング』鈴木光司/角川ホラー文庫

世界的に評価されている小説

●文筆家で妻子持ちの島村と芸者の駒子が、互いに惹かれあう話
『雪国』川端康成 /新潮文庫

●虚無に沈む男の破滅へ至る生涯悲劇譚
『人間失格』太宰治/新潮文庫

●言葉の面白さに改めて気づかされる本
『舟を編む』三浦しをん/光文社文庫

●思春期の心の揺れや「生き直し」がテーマの物語
『カラフル』森絵都/理論社

●港町で叔母と暮らす少女。ある日、「扉を探しているんだ」という美しい青年と出会う…。
『すずめの戸締まり』新海誠/角川文庫

フランスで人気日本人作家：
村上春樹は疑いようのない全世界で一番人気の日本人作家です。最近、東野圭吾もとても人気です！フランスでは川端康成や小川糸などの小説もよく読まれています。
（ギヨム・談）

※表紙画像は、出版社の許可を得て転載しています。